

日本における自動車関連産業の現状と展望

【目次】

はじめに	第 3 章 海外の自動車産業の現状
第 1 章 日本における自動車関連産業の歴史	第 1 節 アメリカ
第 1 節 自動車産業の揺籃期	第 2 節 中国
第 2 節 自動車部品産業の揺籃期	第 3 節 インド
第 3 節 自動車産業の発展期	おわりに
第 4 節 自動車部品産業の発展期	
第 2 章 自動車関連産業の現状と構造	
第 1 節 自動車産業の現状と構造	
第 2 節 自動車部品産業の現状と構造	
第 3 節 部品調達構造の変化	
第 4 節 新たな技術分野の動向	

【研究の目的・課題】

自動車業界の発展は、我が国の高度経済成長を支え、経済の発展に大きく関わり、現在も基幹産業として日本を支えている。そこで、まずは我が国自動車業界の発展の軌跡を追うこととする。また、現在日本では自動車の販売台数が伸びず飽和状態となっている。そこで、今後どのように変化していくのかについて、自動車業界の展望を調べ論ずる。

自動車は 2~3 万点の部品から出来ている。しかし、そうした部品全てを自動車メーカーが造っているわけではない。その約 7 割を外部の部品・資材メーカーが製造している。ゆえに、自動車産業の発展は、自動車部品工業が支えてきたといっても過言ではない。本論文では、そうした自動車部品産業にも目を向け、その発展・現況・展望についても併せて調査・考察を行うこととする。

【方法】

関連参考文献や統計資料を基に分析する。

【結論】

日本では自動車の販売台数は飽和状態にありこれ以上伸びることはないところまで成長している。それゆえ、日本の自動車産業は海外を中心とした展開を見せている。しかし、国内での需要がなくなったわけではなく、今まで通りの需要は存在する。よって国内では顧客満足度を高めるためのアフターマーケット産業に重点が移行することになると思われる。また、自動車産業が海外に進出するに伴い自動車部品産業も海外へと進出しているが、今までどおり主となる自動車メーカーに部品を供給していく形ではなく、数多くの自動車メーカーと取引をしなければいけなくなる。そうしたことから、部品業界においても競争が激化してきている。

【参考文献】

住商アビーム自動車総合研究所 『自動車業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』 秀和システム, 2005 年。

小林英夫・大野陽男 『日本の自動車部品産業』 工業調査会, 2005 年。

ローランド・ベルガーオートモーティブ・コンピタンス・センター 『自動車部品産業生き残りへの 8 つの課題』 日経 BP 社, 2005 年。

小林英夫 大野陽男 編著 『日本自動車部品企業』 日刊工業新聞社, 2006 年。

構造変化に直面する自動車部品業界

http://www.sumitomotrust.co.jp/RES/research/07_03_60.html (11 月 3 日接続)